

**第122回新生ふくしま復興推進本部会議**  
**第33回福島イノベーション・コースト構想推進本部会議**  
**合同会議 議事録**

- 日時：令和5年3月27日（月）11：10～11：15
- 場所：危機管理センター災害対策本部会議室（北庁舎2階）

**【鈴木副知事】**

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議、福島イノベーション・コースト構想推進本部会議の合同会議を開催いたします。

早速、報告事項の1つ目「令和5年度風評・風化対策」について、風評・風化戦略担当理事。

**【風評・風化戦略担当理事】**

風評・風化対策についてご報告します。はじめに資料1-1をご覧ください。令和4年度の成果と課題であります。全庁一丸となり戦略に基づき粘り強く取組を進めた結果、総合計画で定めた主要指標「ふくしまに良いイメージを持っている人の割合」が、目標の50%を超え52%となりました。また、補完指標を見ても、「県産品の輸出額」が過去最高を記録した一方、米や桃、牛肉などの価格が固定化しているなど、依然として根強い風評が見られるほか、「観光客入込数」や「外国人宿泊者数」は、新型感染症の影響も見られます。

続いて資料1-2をご覧ください。昨年度の成果や課題を踏まえた令和5年度の主要事業であります。県産品については、福島ならではのブランド力の強化と国内外への更なる販路拡大に取り組んでまいります。観光では、県内各地に来て、見て、実感できる多様な取組を推進してまいります。併せて、様々な媒体を駆使しながら、ふくしまの今と魅力を戦略的に発信するとともに、基本となる安全安心の確保に向けた取組もしっかりと継続してまいります。

資料1-3をご覧ください。主要事業のスケジュールであります。様々な事業を年度通して切れ目なく進めながら、より対面を重視した取組、実際に福島に来ていただく多様な取組により共感の輪を広げてまいります。

引き続き、風評・風化対策プロジェクトチームを核に部局連携により課題や情報を共有しながら効果的な風評払拭、風化防止に取り組んでまいります。説明は以上です。

**【鈴木副知事】**

続いて、報告事項の二つ目「復興・再生のあゆみ」について、企画調整部長。

### 【企画調整部長】

資料２－１の「復興・再生のあゆみ」をご覧ください。昨年１２月に発行した第９版を更新し、第１０版としました。川俣町の「かわまたアンスリウム」に関連する写真を表紙にしております。左の写真の「Smile farm」代表の谷口さんは、アンスリウムに加え、イチゴ栽培のほか、体験農園の運営を行い、関係人口や新規就農者の増加につながる取組を推進しています。令和５年２月１２日に復興庁の「新しい東北」復興・創生の星顕彰に選定されました。

本資料の基礎資料となる資料２－２の「ふくしま復興のあゆみ」も更新を行い、第３２版として公表いたします。また、資料２－３の「「新生ふくしま」の実現に向けて」も併せて更新を行い、公表いたします。

### 【鈴木副知事】

今の説明に関して、何かありますか。  
なければ、知事からお願いします。

### 【知事】

今月で東日本大震災、原発事故から１２年が経過しました。去年は、帰還困難区域において初となる避難指示解除が実現し、県内で唯一、全町避難が続いていた双葉町においても、一部で避難指示が解除されるなど、福島復興は新たな段階に向けた大きな一歩を踏み出しました。

一方で、未曾有の複合災害からの復興・再生、廃炉と汚染水・処理水対策、風評と風化の問題に加え、急激に進む人口減少、度重なる自然災害からの復旧、長引く新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰への対応など、福島県はいまだ多くの困難な課題を抱えています。

そのような中、今年には第２期復興・創生期間の折り返しを迎えます。福島復興と地方創生に向けた課題は、今も現在進行形で生じています。それら様々な困難と対峙しながら、これまでの挑戦を「シンカ」させ、総合計画に掲げた目標を一つ一つ着実に実現していかなければなりません。

誰もが笑顔と誇りで満ちあふれた「復興の地ふくしま」を実現するため、今後も全庁一丸となって、全力で挑戦を続けていきましょう。

### 【鈴木副知事】

以上で、合同会議を閉じます。